

成長率3.2%→2.0%

政府の今年度見通し大幅引き下げ

■経済成長率の見通し

	22年度		23年度	
	1月	今回	1月	今回
実質GDP	3.2	2.0	1.1	
個人消費	4.0	3.6	2.0	
住宅投資	0.9	▼2.1	▼0.5	
設備投資	5.1	2.2	3.9	
輸出	5.5	2.5	—	
消費者物価	0.9	2.6	1.7	

政府は25日の経済財政諮問会議で、2022年度の国内総生産（GDP）の実質成長率が2・0%になるとの見通しを示した。世界経済の減速を受け、1月時点での見込んでいた3・2%から大幅に引き下げた。この結果、最高値を更新するもと見ていた22年度のGDP

世界経済の減速響き コロナ前に届かず

初に出た20年度に次いで過去2番目の大きさとなつた。

D) ながらの予測を基づいて、日本的主要な輸出相手国の成長率も、1円の4・0%から2・4%以下がった。
それに半導体などの部品不足に伴う自動車などの生産停滞や、中国の都市封鎖（ロックダウン）の影響もあり、輸出は5・5%増から2・5%増と伸びが半減する見込み。（北川謙一）

の規模は縮小し、コロナ前の19年度の値にも届かない見通しなった。

前の19年度(550・5兆円)にも届かない。